

# 2010～2012年度 中期経営計画



## 20年後(2030年)の世界経済・事業環境予測

- 世界経済は2倍規模に
- 新興国が世界経済の牽引役に
- 先進国市場が更に多様化

## 長期市場予測

今後成長が期待される  
事業領域

### 環境・エネルギー

・再生可能エネルギー、高度蓄電、省資源の関連需要が先進国だけでなく新興国でも増加  
・自動車の軽量化、断熱用途等の利用拡大

### ライフサイエンス

・先進国では高齢疾患対象、新興国では所得水準の向上に伴った医薬・医療需要が拡大  
・人口増加に伴う食糧増産ニーズの高まり

### ICT

・先進国では生活快適化に、新興国では産業の発展と生活水準の向上のためにニーズが増大  
・プリンタブルエレクトロニクスなどの革新的な新技術登場

## 経営ビジョン

### 経営基盤、事業規模の更なる強化

グローバルな事業展開を加速するとともに変化を続ける市場のニーズに高い技術力で応える

### 社会の持続的な発展への貢献

人々の生活水準の向上や健康の増進、エネルギー・食糧問題の解決、低炭素社会の構築など、世界が抱える課題に化学の総力を挙げて取り組む

### 企業価値の継続的な拡大

強靱な収益体質の構築、収益の成長を持続させ、株主の期待に応える

## 経営ビジョン実現に向けた3つの戦略

### 技術戦略

- 成長3分野への研究資源の重点投入
- 創造的ハイブリッドケミストリーの実践
- グリーンサステナブルケミストリーの追求
- ダウンストリーム展開の加速
- 基礎研究の強化

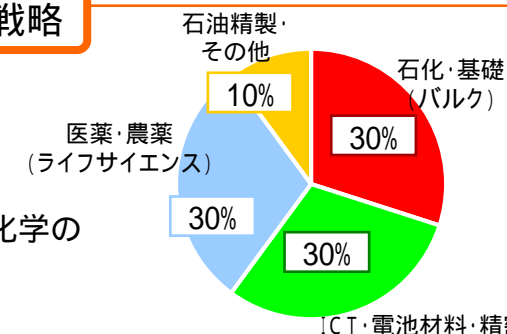
### 気候変動対応戦略

地球規模で顕在化している資源・エネルギー・環境制約の解決に積極的に取り組む

- 世界最高レベルのエネルギー効率の達成
- CO<sub>2</sub>の排出削減に貢献するプロセス・製品の開発
- エネルギー・環境制約対応の一体的推進等による管理体制の充実

### 事業ポートフォリオ戦略

10年後(2020年)に  
バルクケミカル、  
ライフサイエンス、  
ICT・電池材料・精密化学の  
構成比率を均等化



## 2010～12年度 中期経営計画

～経営ビジョン達成の第一ステップ～

### 7つの基本的な取り組み

- 先行投資からの収益・キャッシュフローの早期獲得
- 財務体質の強化
- コア事業・基盤事業のコスト競争力の一層の強化
- 事業成長のスピード加速
- 気候変動対応戦略の積極的推進
- グローバル経営システムの強化
- コンプライアンスの徹底、安全・安定操業の維持・継続

### 中期経営計画の経営目標

- 売上高 2兆4,000億円
- 営業利益 1,900億円
- 経常利益 2,200億円  
(うち持分法投資利益 400億円)
- 純利益 1,400億円

(前提)  
為替: 90円/ドル  
ナフサ: 50,000円/KL  
原油: 85ドル/バレル

